

# 公益財団法人群馬銀行環境財団と一般社団法人群馬県フロン回収事業協会の協働について



## 協働事例の概要

子どもたちを対象にしたエコ・キッズ・キャンプ in 赤城山の開催（2005年～）

赤城少年自然の家で環境問題に関する体験学習を行い、環境保全について学ぶ機会を提供

協力：環境・自然活動を行う団体に所属する個人・学生ボランティア

後援：群馬県教育委員会



公益財団法人 群馬銀行環境財団

HP <http://www.gunginkankyo.jp/index.htm>

代表 深井彰彦

住所 前橋市元総社町 171-1

主たる活動 環境保全、環境教育、環境保全活動に対する助成



一般社団法人 群馬県フロン回収事業協会

HP <http://gunma-flon.or.jp/>

代表 藤田実

住所 前橋市紅雲町 1-7-12 住宅公社ビル 4F

主たる活動 フロンの回収・破壊、技術講習会の開催、啓発活動及び環境教育

## 協働における役割

- ・環境問題を子どもたちに知ってもらうための「体験学習」の機会を作る
- ・イベントを主催し、環境保全の大切さを伝える
- ・キャンプ参加費（宿泊費、食事代、教材費）の負担

## 協働したことの相乗効果

地球環境問題の解決には国境を越えた協調が不可欠で、問題の規模があまりにも大きいことから身近なこととして実感することが困難です。しかし、フロンガスが環境に及ぼす影響を実際の機器を用いたり、実演を交えることで子どもたちに環境問題をより身近に感じてもらうことができました。協働することで子どもたちは環境問題を自分のこととして捉えやすくなり、人間と自然との共生を考え、環境問題に率先して取り組んでいける大人に成長してほしいというきっかけづくりになりました。

## 協働における役割

- ・フロンガスが大気中に放出されると、オゾン層破壊や地球温暖化など地球環境にいかに関与を与えるか、そしてその対策を説明
- ・フロンガスを使って物を冷やす仕組みの説明
- ・フロンガス回収作業の実演
- ・地球温暖化とフロンに関するパネル展示